

—— オティックスグループ ——

環境報告書



ENVIRONMENTAL REPORT 2021

OTICS

ごあいさつ

オティックスグループは、エンジン機能部品を中心とする精密部品を生産しております。そして、これらの部品の機能、特性が、自動車の環境性能向上に寄与していることを十分認識し、日々研鑽を積んでおります。

昨年は新型コロナウイルスなど外部環境が大きく変化した一年で、国内、海外とも人の面、生産の面などで大きな影響がありました。環境問題においては地球温暖化対策への社会的要望が高くなっておりグループでの対策を進めていきます。

当社は以前より継続的に「環境取り組み3ヵ年プラン」を展開してまいりました。2020年度は、第7次の「環境取り組み3ヵ年プラン」継続年でもあり、環境保全の4本柱である「地球温暖化対策」、「循環型経済社会の構築」、「環境負荷物質管理」、「環境意識強化活動」に挑戦中です。また、「本物の森」づくりを目指し取り組んできた植樹活動「オティックスの森」についても継続して取り組んでいきたいと思っています。

当社はこれらの改善活動をご理解いただくためにも、環境コミュニケーションをより重視してまいります。

引き続きご理解とご協力をお願い致します。

2021年6月



代表取締役社長
小田井勇樹

社是・経営理念

I 社是

『和と努力』 Harmony & Effort

顧客	顧客との和／品質への努力
技術	技術と人間の和／技術革新への努力
社会貢献	地域社会との和／企業文化創造への努力
ヤングスピリット	伝統と革新の和／各自の創意工夫の努力

II 経営理念

『和と努力』を基とし、常に創意工夫をもって、
品質の向上、コストの低減に努め、
会社の繁栄と社員の幸福を図り、社会に貢献する。

環境方針

オティックスグループ（以下当社）は、かけがえない自然の大切さを認識し、地球環境の改善が事業活動の最重要課題の一つであると位置づけています。

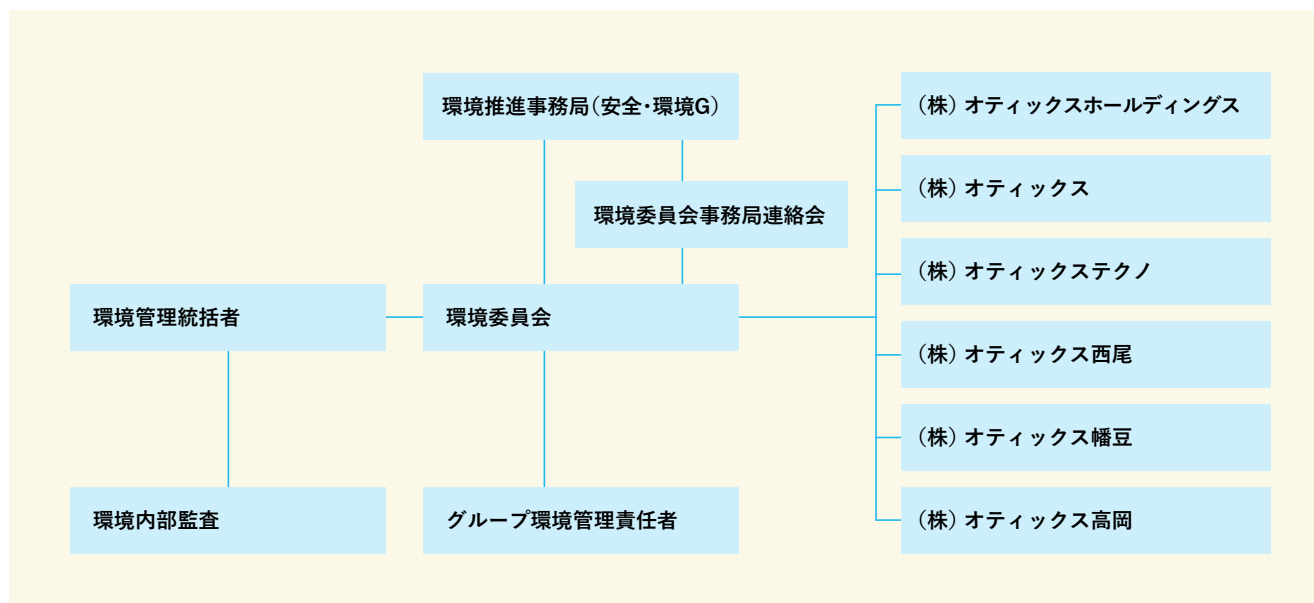
当社はエンジン機能部品の専門メーカーとして精密部品を生産していますが、その生産活動、製品が環境に深く関わっていることを踏まえ、地域環境のみならず地球環境保全のために環境負荷低減を積極的に展開します。そのため、環境マネジメントシステムを構築し、全従業員参加のもと継続的な改善および汚染の予防を推進します。

1. 当社に適用される環境側面に関連する法律・協定・ガイドライン・業界規範等の要求事項を遵守し、並びに生物多様性及び生態系の保護を含む活動で地域との環境調和をはかります。
2. 当社は環境負荷を低減するため環境目的及び目標を設定すると共に、全従業員一丸となって継続的に改善を推進します。
3. 当社で働く全従業員、または当社のために働くすべての人に本方針を周知させるため、教育・啓蒙活動を行います。
4. 本方針は文書化し、要求があれば一般の人にも開示します。

改定日：2019年4月1日
株式会社オティックス
代表取締役社長 小田井勇樹

環境マネジメントシステム体制

当社は、環境活動を組織的に推進するため、環境管理統括者（社長）のもとグループ全体で環境活動および社会貢献活動を展開しています。



環境委員会

3ヶ月に1回、環境管理統括者、グループ環境管理責任者及び各社環境管理責任者、環境委員会事務局連絡会メンバーが環境取り組み3ヵ年プランの推進及び環境マネジメントシステムの運用状況の確認を行います。

環境委員会事務局連絡会

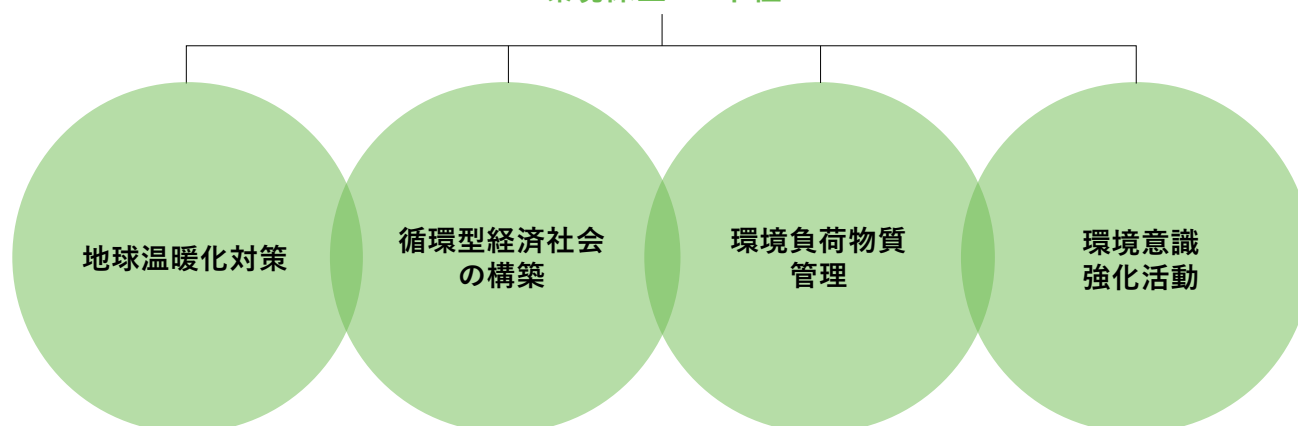
3ヶ月に1回、環境推進事務局、各社担当課メンバーで環境委員会での協議内容の進捗確認など情報共有を行います。コンプライアンス管理として、各社で環境管理責任者に任命された法定管理者、法定責任者を置き、法で定める役割、責任を果たすための権限を与えています。

環境活動

当社は、エンジン機能部品の専門メーカーとして、精密部品を生産しており、その生産活動・製品は、環境に深くかかわっています。そこで、地域環境はもちろん、地球環境保全のために、環境負荷低減のための活動を積極的に実施しています。

オティックスの基本的な取り組み

環境保全の4本柱



第7次(改)環境取り組み3ヵ年プラン(2020-2022年)

【方針】

オティックスは、21世紀社会の環境保全に貢献する為、全員参加でエンジン機能部品専門メーカーとして循環型社会の構築に寄与する。

環境に関する取り組み内容を環境取り組み3ヵ年プランとして定め3ヵ年目標値及び年度計画を策定し、全員参加で地球温暖化対策、循環型経済の構築、環境負荷物質管理、環境意識強化活動に取り組んでいます。

課題	実施項目	監視目標項目(数値)	3ヵ年目標値	2020年取り組み	2020年度結果
地球温暖化対策 (CO ₂ 排出量低減)	モデルラインのCO ₂ 排出量従来比▲10% ※2022年目標	モデルライン CO ₂ 排出量	▲10%	モデルラインの選定	○
	生産性向上活動 により、省エネの推進	CO ₂ 原単位低減	▲3% (▲1%/年)	前年に対して 2.8%増加	×
	改善シートのCO ₂ 改善効果積み上げ	改善率	▲9% (▲3%/年)	目標値に対して 228.6%積み上げ	○
	環境改善や貢献を 改善シートで強化 する(EMPに記載)	改善シート件数 (環境改善)	各部門で6件 (2件/年)	652件	○
循環型経済社会の 構築(産廃低減)	産廃の有償化、減容化等 による排出量削減 (▲3%/年、2020年～2022年)	産廃原単位低減率	▲9% (▲3%/年)	前年に対して 26.6%削減	○
	ゼロエミッションの達成	ゼロエミ率	99.5%	99.7%	○
環境負荷物質管理 (化学物質)	SOC管理 (新規管理)	対応率100%	100%	対応率100%	○
	油剤SOC管理 (新油管理)	対応率100%	100%	対応率100%	○
	IMDS管理 (新規管理)	対応率100%	100%	対応率100%	○
環境意識強化活動	環境異常の監視 S:社外影響あり A:社外影響の可能性あり B:社外影響はなし C:社内影響小	環境異常件数	S・Aランク:0件 Bランク:1件以下 Cランク:2件以下	Bランク1件 Cランク2件	○
	工場近隣の美化	実施回数	6回/年 (2回/年)	6/17、10/14 清掃活動を実施	○
	外部からの苦情監視	苦情件数	0件/年	0件	○
	西三河南部生態系 協議会イベント参加	参加率	100%	未開催	—
	仕入先環境指導 ISO14001/環境簡易 規格取得依頼	取得件数	6件 (2件/年)	目標2件に対し1件	×

製品開発での環境配慮

製品の粗材、製造、使用を考えた開発に取り組んでいます。

粗材

環境になるべく負担のかからない、人や環境に優しい粗材の使用を目指します。関連する部署と協力し、使用する粗材に汚染物質が含まれていないか確認しています。

製造

使用するエネルギーを減らし廃棄物をなるべく出さない設計を目指します。会社全体で製品の設計内容を確認しています。

使用

部品を軽くしたり、摩擦力を小さくしたり、自動車が少ないガソリンでたくさん走れるような部品の設計を目指します。

生産工程設計の環境配慮

製品の品質、生産量、コストを満足させる生産工程の設計を行っています。また、使用するエネルギーを少なくするなど、環境に配慮した設備を導入しています。

1. エネルギー使用量削減への取り組み

- ①生産設備をスリム化（小型化）する。
- ②エネルギー消費の少ない機器を導入する。
- ③複数の工程を同時に加工する「複合設備」を導入し、設備の台数を減らす。
- ④電気使用量の大きいエアブローを減らす。

2. 環境に配慮した取り組み

- ①新しい生産設備を導入する際に使われなくなった設備は改造して利用する。
- ②近隣の住民、従業員の健康や快適性に配慮した騒音の少ない設備を導入する。

国際規格の認証取得

認証・登録	認証・登録日	認証・登録番号
ISO9001	1998年3月登録	JQA-2191
ISO14001	2001年5月登録	JQA-4812
IATF16949	2006年6月登録	JQA-AU0126

2020年度 事業活動と環境負荷

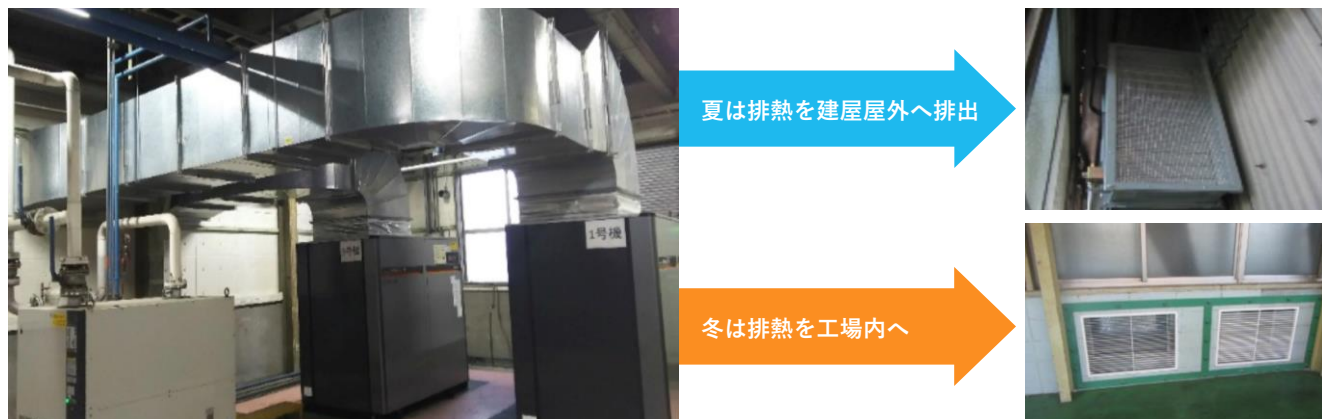
インプット		アウトプット	
電力	57,309MWH	地球温暖化ガス（CO2）	35,636 t
LPG	1,095 t		
LNGガス（12A）	1,235千m3		
LNGガス（13A）	1,331千m3		
重油	276 k ℓ		
水	105,980 t	排水	41,432 t
		産業廃棄物	662 t

地球温暖化対策

CO2削減事例

当社は、各工場が生産工程を改善することでCO₂排出量の削減に取り組んでいます。オティックス高岡では、インバーターコンプレッサーの排熱を夏は屋外へ排出し、建屋周囲温度を下げることで異常停止を抑制し、冬は工場内へ取り込めるように吹き出し口を作り、暖房の使用を抑制することで工場の暖房で使用していたガスの使用量を低減しました。

今後も各工場でエネルギー効率を改善し、CO₂排出量削減に取り組んでいきます。



環境改善事例発表会

当社は、毎年「環境改善事例発表会」を実施し、各社で実施した環境改善の効果及び検証と社内、他設備への展開を行っています。昨年オティックス幡豆では濃縮液の処理を濃縮装置の設定を見直すことで廃液を有償化し産業廃棄物処理量を削減しました。

引き続き各社でCO₂と産業廃棄物の排出量削減に取り組んでいきます。

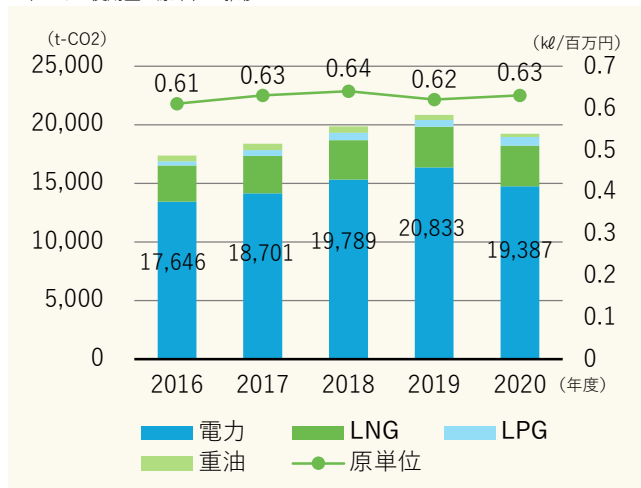


環境改善事例発表会

CO₂排出量削減

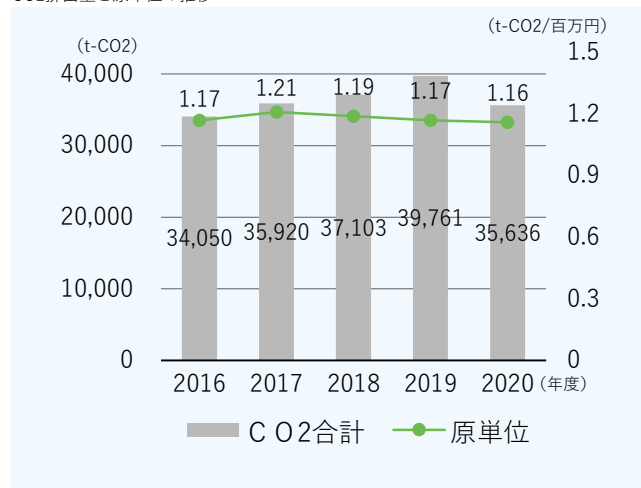
当社は、（一社）日本自動車部品工業会の第8次「環境自主行動計画」の目標値に基づいてCO₂排出量の削減に取り組んできました。2020年度までに2007年度対比13%削減に対し21.9%削減し、原単位目標を達成しました。引き続きCO₂排出量の削減に取り組んでいきます。

エネルギー使用量と原単位の推移



エネルギー使用量原単位（エネルギー使用量（kℓ）/加工高（百万円））

CO₂排出量と原単位の推移

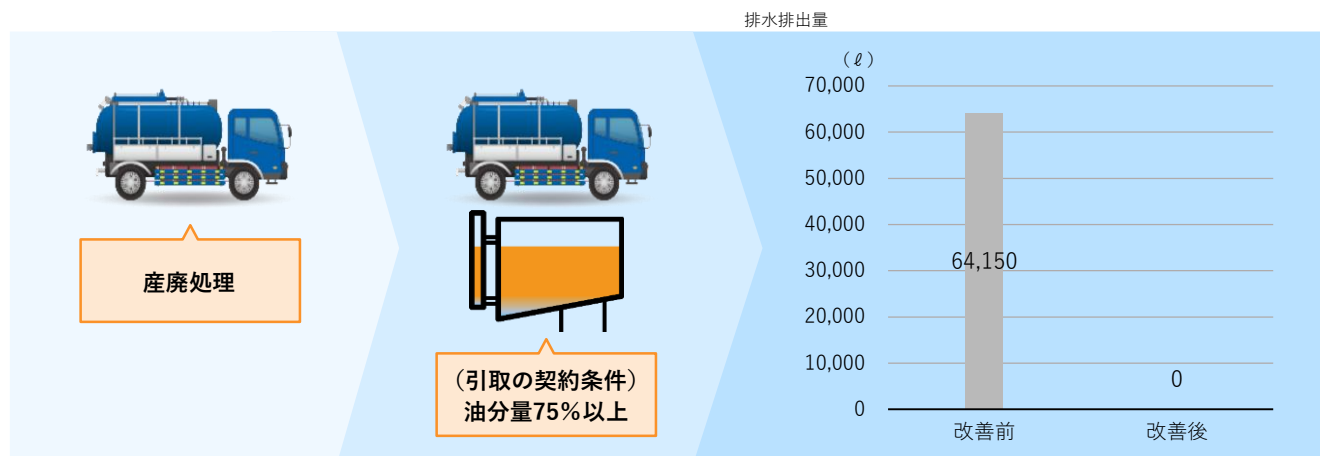


CO₂排出量原単位（CO₂排出量（t-CO₂）/加工高（百万円））

循環型経済社会の構築

産業廃棄物削減事例

オティックス幡豆では廃液処理に使う濃縮装置の設定を見直すことで今まで産業廃棄物として排出していた廃液を有価引取にすることで産業廃棄物を削減しました。

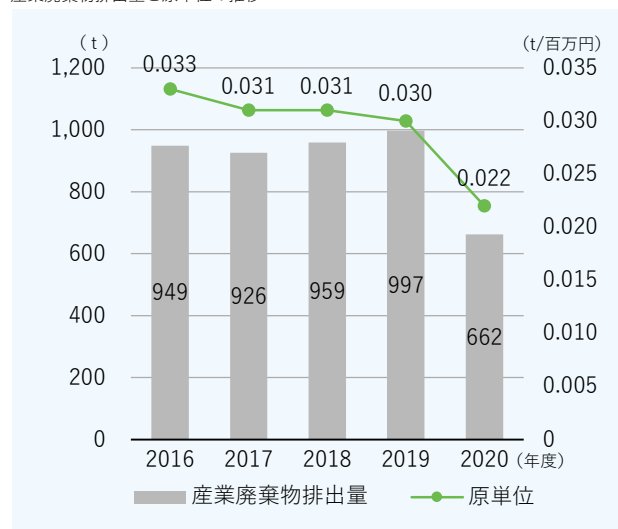


産業廃棄物排出量の削減

当社は、(一社)日本自動車部品工業会の第8次「環境自主計画」目標値に基づいて産業廃棄物の削減に取り組んできました。

各工場では産業廃棄物の減容化等により排出量の削減に取り組むとともに、ゼロエミ率99.5%の達成を目標にしています。各社で産業廃棄物の削減に取り組むことでゼロエミ率99.7%を達成しました。

産業廃棄物排出量と原単位の推移



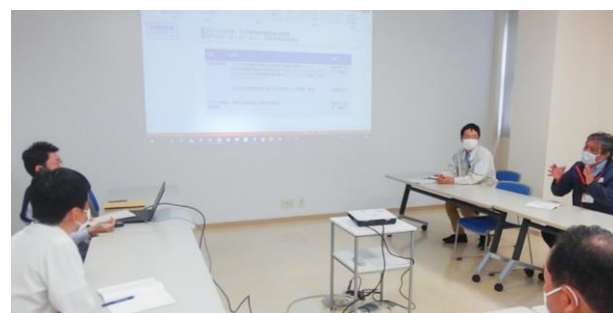
産業廃棄物排出量原単位 (産業廃棄物 (t) / 加工高 (百万円))

環境負荷物質管理

化学物質管理体制

当社は化学物質の規制強化を受け、取引先からの化学物質管理に対する要求にこたえるために製品環境部会を立ち上げ化学物質管理に取り組んでいます。

自動車部品の化学物質情報登録および顧客への報告を行っており、サプライチェーンで必要な情報を収集し、IMDS登録など管理体制を整えています。



製品環境部会の様子

環境意識強化活動

清掃奉仕活動

当社は清掃奉仕活動を環境ボランティア活動の一環で、地球環境保護・地域貢献を目的に、活動を通じて従業員の環境意識を高めるため実施しています。新型コロナウイルスの感染防止対策をして実施しました。



清掃奉仕活動の様子



環境意見交換会

当社は、自治体など地域の代表者にお越しいただき、会社概要、環境の取り組み内容を説明するなど地域との環境意見交換会を実施しています。地域の代表者からは、新工場稼働による工場周辺への環境面での配慮や、従業員に対しての交通マナーなどが要望としてあげられました。今後も地域環境に配慮し、情報交換などコミュニケーションを継続していきます。



環境意見交換会の様子



寺津工場説明の様子

環境異常の監視

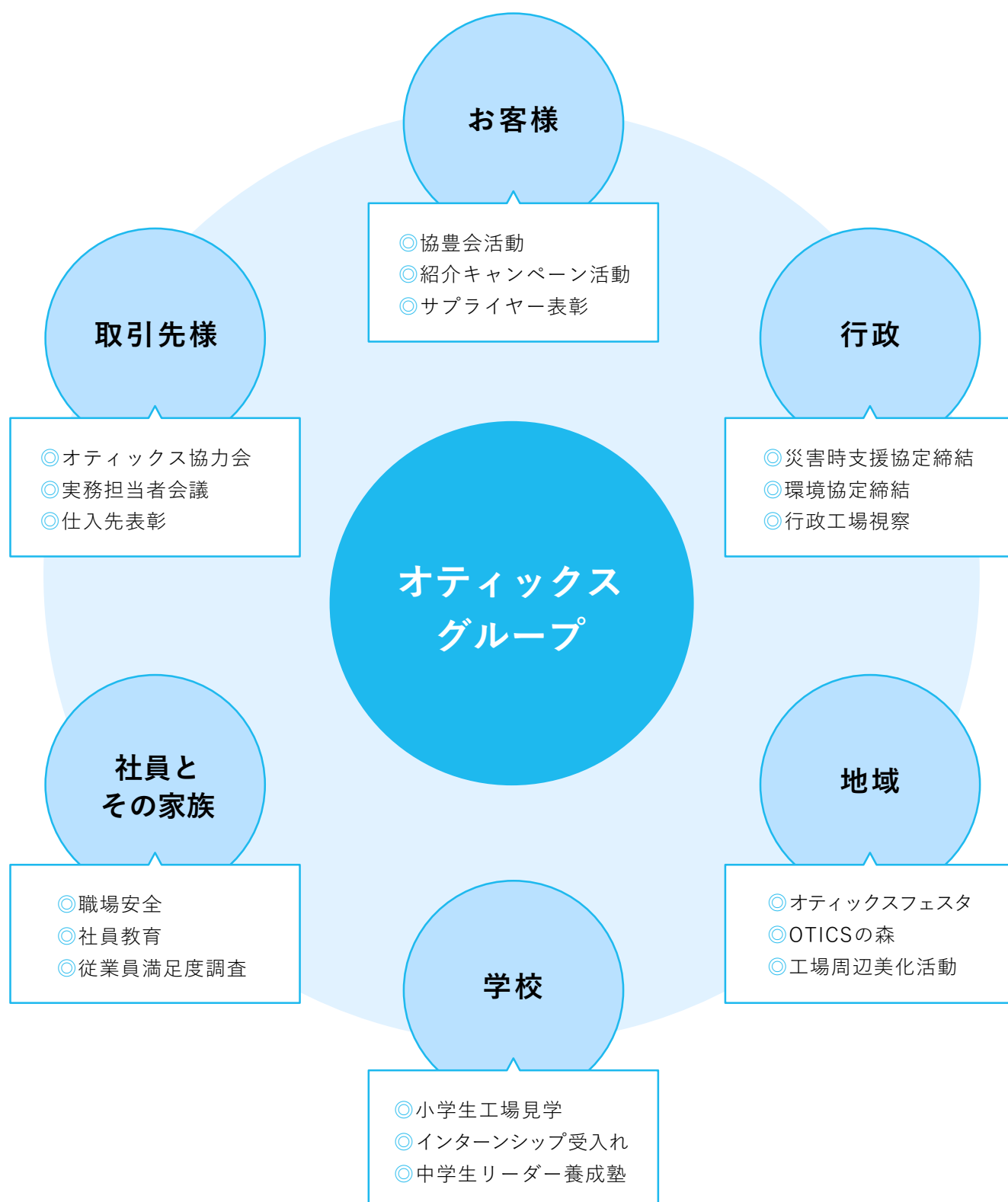
当社は緊急時の対応確認を定期的に行い、環境異常を監視しています。各会社で油の漏れや排水基準値の順守など地域への悪影響が起こらないように点検しています。



油タンク点検の様子

※西三河南部生態系協議会イベントは新型コロナウイルスの影響で活動が中止になりました。

オティックスグループのステークホルダー



地域との関わり

当社は、従業員の環境意識向上のため社内外のイベントを通して環境活動の重要性を伝えています。

オティックス募KEN活動

当社では、新型コロナウイルスの感染防止のため中止となった「オティックスチャリティフェスタ」に代わる地域貢献活動として、「オティックス募KEN活動」に取り組みました。主な取り組みとしては工場周辺や通勤路などのゴミ拾い活動、テレカ・図書券などの募集、全員が例年以上にヘルスマを頑張る活動です。「オティックス募KEN活動」の従業員からの寄付で西尾市社会福祉協議会に子供用の車いすを寄贈しました。



清掃活動の様子



西尾社会福祉協議会への車いす寄贈の様子

地元小学校の生徒による工場見学

当社では地元小学校へ地域貢献の取り組みとして工場見学を行っています。蒲郡市立大塚小学校5年生の児童50名が社会学習の一環でオティックス幡豆蒲郡工場を訪れました。



工場見学の様子

交通安全立哨

当社では社員はもちろん、地域住民の方々への啓蒙活動として、会社前にて月1回交通安全立哨を実施しています。



交通安全立哨の様子

緊急時の地域との関わり

当社は、緊急時を想定した訓練の他、地域の皆様とのつながりを意識した活動を推進しています。

緊急時の対応

当社では、毎年緊急時対応訓練を実施しています。また災害時には地域の皆様へ技術本館北側グラウンドを一時避難所として提供することをお約束しています。



避難訓練の様子

※オティックスチャリティフェスタ、中学生リーダー養成塾は新型コロナウイルスの影響で開催を中止しています。

国内拠点



株式会社オティックス
ホールディングス【事務本館】



株式会社オティックス
【技術本館】



株式会社オティックス高岡
高岡工場



株式会社オティックステクノ



株式会社オティックス幡豆
蒲郡工場

- ◎株式会社オティックスホールディングス
- ◎株式会社オティックス
- ◎株式会社オティックステクノ

◎株式会社オティックス高岡
高岡工場

◎株式会社オティックス幡豆
蒲郡工場

◎株式会社オティックス西尾
平坂工場
江口工場
寺津工場

◎株式会社オティックス幡豆
幡豆工場

◎株式会社オティックス西尾
西浅井工場



株式会社オティックス幡豆
幡豆工場



株式会社オティックス西尾
平坂工場



株式会社オティックス西尾
江口工場



株式会社オティックス西尾
寺津工場



株式会社オティックス西尾
西浅井工場



「環境報告書」
発行に当たって

お客様からの信頼を得るためにオティックスグループの環境配慮の取り組みなどをまとめました。
本報告書ではオティックスグループの環境、地域貢献について報告いたします。

【報告期間】 本報告書はオティックスグループにおける2020年度（2020年2月1日～2021年1月31日）の活動実績をもとに作成

【対象範囲】 株式会社オティックスを含む国内会社

【発行日】 2021年6月

【参考とするガイドライン】 環境報告ガイドライン2018年度版

お問い合わせ先

株式会社オティックスホールディングス 総務人事部 安全・環境G

〒444-0392愛知県西尾市中畑町浜田下10番地 TEL.0563-59-6481 <https://www.otics.co.jp/>